

令和6年5月17日

futbol y vida

Poco a poco ...
boco y boco ...



インターハイ都大会はハイプレスの前に敗れる!!
選手権ではもう一度対戦したい!!

インターハイ都大会、石神井のハイプレスの前に成すすべなく敗退!!

選手権&リーグ戦に向けトータルでレベルアップする!!

5月11日(土)、インターハイ都大会初戦 VS 石神井高校戦が、Awayの石神井高校グランドで行われました。対戦相手の石神井高校はT3リーグに所属(昨年度はT2)し、嘗ては都大会ベスト4に進出にするなど公立高校のサッカー伝統校のひとつです。ここ数年は実績も申し分なく、現在、都立高校でも東久留米総合高校に続く強豪校です。前任校のころからTRMを年に何度もやるほどの仲のチームで今回の組み合わせ抽選会の日も赤羽の森グランドでTRM中に対戦することを知らされました。今回のインターハイ都大会で闘いたいチームのひとつだったので、今のチーム力を押し量る上で絶好の機会です。



⚽初戦の強豪校石神井戦に挑む⚽

ハイプレス&ウラポンスタイルとクレーのグランドに立て直せずに最後まで苦しむ!!

何度もTRMをするので、お互いのサッカースタイル(手の内)は分かっています。ハッキリ言えば、お互いのサッカーへのアプローチは、攻撃重視の片倉 VS 守備重視の石神井といったところでしょうか。どちらが主導権を握るかがゲームの鍵となりました。片倉高校も普段はクレーのグランドで練習していますが、この日の石神井高校のグランドは思いの外硬くボールを収めるのに苦労し、必要以上に子どもたちはボールを受けることにナーバスになりました。また、相手チームのハイプレスが速く慌ててしまう場面も見られ、ロングキックに逃げたり、タッチ数が多くなり判断が鈍くなるなど本来の片倉のサッカーをやらせてもらえませんでした。支部予選では感じたことのないプレスの強度の前に、前半はチャンスを三回しか作れませんでした。

後半は、相手センターバックをもっともっと攻略しようということで臨みました。すると、キックオフ直後にゲームの流れを左右する決定的な出来事が起こります。ボールをセンターへ運ぶとスループスが通りGKと一対一。この決定的なチャンスを外してしまいます。その後のゴールキックが相手の注文通りヘディングでフリックされると走り込まれた⑦の選手にループシュートを決められて0-2とされます。決定機を「決めるか決めないか」でゲームの行方は変わります。その後、勢いに乗るホームチームを止めることはできません。最後まで諦めずに反撃をしましたが、今年も都大会初戦で敗れました。



⚽決定機を決めるか決めないか?⚽

T3レベルのハイプレスを“いなせる”スキルと判断を身に付ける!!

今回のクレグランドは同じ条件なので言い訳はできませんが、サッカーのスタイルからは若干厳しい環境でした。なかなか、ボールを平面で転がすことができませんでした。もちろん、石神井高校のハイプレスは予想以上に速く、強度も高いことにより、後方の選手たちがミス（ボールロスト）恐れて日頃から取り組んできたGKからビルドアップをするスタイルを諦めるところにも問題はあります。片倉高校もゲームや日々のトレーニング強度が高くなるようにしていますが、石神井高校の速いファーストアプローチをいなすことはできませんでした。



⚽ハイプレスに立ち向かえる武器を身に付ける⚽

なるほど、T2リーグまで駆け上がり、今シーズンT3連勝中のチームだけです。今回は、悔しいですが石神井高校に**完敗**と認めざるを得ません!!

この後、6月には四週連続でリーグ戦があり、夏休み後半には選手権一次予選がスタートします。今回の**石神井高校**や関東大会で闘った**日大豊山高校**と都大会上位校との公式戦で体感した基準を忘れずに、トレーニングしていきたいと思います。そして、都大会上位進出のためには、フィジカル・スキル・戦術・メンタリティどれもレベルアップを図る必要があります。ゲームに出たものだけではなく、チーム全員が今回の敗戦から得た課題を把握できるかどうか、チーム力を押し上げることにになります。果たしてそれは上級生なのか？新一年生なのか？中間考査明けからトップチームへ昇格するためのレースは始まります。

負けに不思議な負けはなし!! 勝ったチームが強いのだ!!

混戦模様のJ1序盤戦をリードしているのは、昨季王者のヴィッセル神戸と昇格組のFC町田ゼルビア。両チームに共通しているのは「ボール非保持」のスタイルであるところだ。一方、浦和レッズや横浜F・マリノス、川崎フロンターレといった「ボールをつなぐ」サッカーは戦前の評判と違い苦戦を強いられている。高い強度の守備をベースにした**ハイプレスドッカンスタイル**が序盤をリード。だから今年のJリーグはつまらない。

.....

いいサッカーといい人生

「・・・家を建てるのは難しいが、崩すのは一瞬。サッカーもそうでしょう。

攻撃的ないいサッカーをしようとする。それはいい家を建てようとする意味。

ただ、それを壊すのは簡単です。戦術的なファウルをしたり、引いて守ったりして、相手のいいプレーをブチ壊せばいい。

作り上げる、つまり攻めることは難しい。でもね、作り上げることのほうがいい人生でしょう。そういませんか？」イヴィチャ・オシム



<After the Game>

インターハイ都大会は石神井高校に完敗し終了しましたが、「**史上最弱チーム**」が支部予選を勝ち抜いて出場した都大会です。成長スピードはゆっくりですがチームは前進しているようです。

さて、上記のような記事を見ました。「**勝ったチームが強い**」ことには間違いありませんが、片倉高校のサッカーを応援してくれる方やファンのためにも「**K's football style**」を貫き通して結果を出したいものです。昨年同様、石神井高校とはもう一度公式戦（選手権）で対戦してみたいですね。同じチームに続けて負けられません。**次は、絶対に石神井高校に勝ちます!!**